

ゲートレポート サンプル

AIコーディングの品質を、決まったクライテリアで点検した証跡（匿名化サンプル）

対象機能	ログイン機能（サンプル）	点検日	2026-06-24	工程	CODE REVIEW ゲート	判定	条件付きPASS（要確認2件）
------	--------------	-----	------------	----	--------------------	----	-----------------

クライテリア判定

クライテリア（点検項目）	判定	所見
スコープ逸脱なし（指示外のファイルを変更していないか）	○ PASS	変更は対象3ファイルのみ。指示範囲内。
処理の実装漏れなし（テーブル・アクション・ロジック）	△ 要確認	パスワードのハッシュ保存処理が未実装の可能性。人間確認を要請。
テストシナリオを満たしているか	△ 要確認	正常系のみ。異常系（パスワード誤り）のテストが未作成。
デグレなし（既存機能を壊していないか）	○ PASS	既存テスト 42件すべて通過。
機密のハードコード・外部送信なし	○ PASS	シークレットは環境変数参照。直書き・外部送信なし。
命名・構造が設計方針に整合	○ PASS	ARCHITECTUREゲートの方針と一致。

- サマリー：6項目中 4件 PASS / 2件 要確認。
 - 「要確認」の2件だけ人間が承認すれば次工程へ進めます。全コードを目視する必要はありません。
 - 承認後、このレポートは「いつ・何を・誰が承認したか」の証跡として保存され、社内・顧客への品質説明にそのまま使えます。

HITL5 CODE の5層ゲート

ARCHITECTURE（何を/どこまで作るか・人間承認）→ TEST（テスト設計・AI主体+レビュー）→ CI-CD（自動連携・AI主体）→ CODE REVIEW（抜け漏れ/逸脱/ロジック・人間主体）→ GOVERNANCE（全体整合・人間承認）。各層に AI/HUMAN/GATE の役割を定義します。

※ 本レポートは説明用のサンプルであり、内容・数値はすべて架空・匿名化したものです。実際のクライテリアは各プロジェクトの要件に合わせて設定します。

AI-HITL5 Framework / ディレクトリジャパン株式会社 提唱 / 2026 | HITL5 CODE デモのお問い合わせ：

<https://directoryjapan.jp/hitl5-code-demo/>